

3学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年4月14日 第4号
文責:江頭 俊輔

[はじめての学力分析テストが迫っています!]

4月15日(水)に3年生で受験するはじめての学力分析テストが行われます!春休みに学習した成果を出してほしいと思っるとともに、受験態度にもこだわってほしいです。高校入試は「終日面接」と呼ばれます。点数のみならず、受験態度もしっかりと確認されています。3年生で受ける学力分析テストや定期考査は【高校入試の受験態度】を整える練習の機会だと捉えて受験しましょう!

[何事も先制点が大切!]



先制点が大切だということを、4月のこの時期に伝えたいと思っています。何事も先制点です。スポーツで説明すると最も分かりやすいと思うので、今回は江頭が長年打ち込んできた「サッカー」を例にお伝えします。(今年はW杯イヤーなので、ぜひ、W杯を見てくださいね!【左図はW杯の組み合わせ】)

サッカーはスポーツの中でも1点を争う競技性が売ります。サッカーの試合で、スコアが10-0になることはほとんどありません。90分の試合時間に1点が入るかどうかが試合がとて多いです。例えば、バスケットボールやバレーボールは「セット」という概念があり、点数が入ることが基本なので、サッカーとはまた違った競技性です。こういう1点の価値がとて高いスポーツでは、先制点がとて大切です。サッカーでいうと、先制したチームの勝率はなんと7割を超えます。先制することさえできれば、統計上、かなりの確率で勝つわけです。先制点のよさを深掘りしてみましょう。

[先制点のメリット!]

さて、ここからはスポーツに関心がない人はあまりよく分からないかもしれませんが。先制点の何がそんなにメリットなのか、実際に新宮東中学校サッカー部が試合で先制したときの、それを指揮する江頭の脳内を参考にメリットを解説していきます。

メリットその1 ~安定したマインドセット~

なんといっても安定したマインドセットが第一のメリットです。相手視点でいうと、先制された場合、なんとか「追いつこう」と、焦ってプレーをします。ミスが重なるとさらに焦ります。逆に先制すると、余裕をもってプレーできます。相手のミスを誘い、それを狙ってカウンターを仕掛けることもできます。安定した、余裕のある心理状態で優位に試合を進めることができます。

メリットその2 ~最悪失点しなければいい~

先制すれば、あとは「失点」しないように試合を運ぶだけで、勝つことができます。攻撃の人数を減らし、守備の人数を増やすとより強固な守備ができます。戦術的な面でも大きなアドバンテージです。

簡単に2つ紹介しましたが、「先制点」を取るだけで、勝率がぐーんと上がる秘密が少しわかったと思います。この先制点の考え方はスポーツだけでなくあらゆる場面でも適用できると江頭は思います。例えば、今回の学力分析テスト。しっかりと準備して臨み、2年生のころとの違いを自分の中で見つけ出すことができれば、それはまさしく「先制点」です。勢いがかかります。2か月後に備える1学期定期考査にも前向きに挑めるでしょう。「先制点」を狙いにいきましょう。